

平成 28 年 9 月 9 日

各 位

医療法人住友別子病院
理事長 鈴木 誠祐

住友別子病院 新病院棟完成について

平素は病院運営に格別のご高配を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、平成 26 年 9 月から進めてまいりました住友別子病院新病院棟建設工事が、平成 28 年 7 月無事竣工し、10 月より新病院での診療を開始する運びとなりました。これまで、多くのご支援とご協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

住友別子病院は、明治 16 年 5 月別子銅山従業者を医療する施設として愛媛県より設立を許可され、以来 130 年の長きに亘って、当地域の基幹病院として地域医療の一翼を担っておりますが、これも偏に皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

現病院は昭和 41 年新築移転以来、既に 40 年余を経過し、老朽化が進み耐震上の問題もありましたので、新病院建設について院内で検討を重ね、平成 22 年 5 月新病院建設基本構想を策定し、平成 24 年 3 月新病院建設計画が在浜住友 4 社の承認を得、正式にスタート致しましたが、東日本大震災後の復興需要等から建設物価が高騰し、二度に亘る入札不調を経て平成 26 年 9 月漸く着工に漕ぎ着ける事が出来ました。

また新病院完成に合わせて PET-CT、リニアック等最新鋭の医療機器を導入し高度な医療を提供するため診療機能の充実を図る事に致しました。

工事は平成 26 年 9 月着工以来順調に進捗し、平成 28 年 7 月に竣工引渡しを受けました。現在 10 月からの新病院での診療開始に向け、病院機能移転、患者移送、物品搬出入等の引越し及び、第二病棟改修等第 2 期工事の準備を進めております。

住友別子病院は、新病院完成後も急性期の中核的医療を提供する総合病院として、また地域がん診療連携拠点病院として、将来に亘ってより質の高い医療を提供し、地域医療に貢献してまいる所存でございます。

皆様におかれましては、今後ともご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

尚、下記のとおり、内覧会を開催させて頂きたくご案内申し上げます。ご多用中とは存じますが、皆様のご来院を心よりお待ちしております。

記

1. 日時 平成 28 年 9 月 24 日（土）10 時～15 時
2. 場所 住友別子病院 新病院棟
3. お問い合わせ先 総務人事課（0897-37-7111）

（添付資料）

新病院の概要

以 上

(添付資料)

新病院の概要

建設地 愛媛県新居浜市王子町乙 1313 番地

敷地面積 38,277.81 m²

施設概要

- 1) 建物規模 新病院棟 鉄骨造・免震構造 地上7階、塔屋1階
エネルギー棟 鉄筋コンクリート造、地上2階
第二病棟 鉄筋コンクリート造、地上5階、塔屋1階
その他 連絡ブリッジ、玄関庇 他

2) 棟別面積

	建築面積m ²	延床面積m ²
新病院棟	5,325.92	24,444.13
エネルギー棟	1,017.75	739.93
第二病棟	1,570.74	6,669.30
その他	562.54	316.05
計	8,476.95	32,169.41

3) 断面構成

	新病院棟	第二病棟
7階	一般病棟、回復期リハビリ病棟	
6階	一般病棟	
5階	一般病棟	介護老人保健施設
4階	一般病棟(小児、産婦人科)	医局
3階	手術室、中央材料室、臨床工学室、救急病棟、リハビリセンター	管理部門、更衣室
2階	外来、化学療法、臨床検査、薬剤、給食、物品・洗濯・リネン	職員食堂、多目的ホール
1階	外来、中央採血、人間ドック、生理検査、内視鏡、放射線、救急、医事、レストラン、売店	透析、託児所

- 4) 病床数 許可病床数 360床(一般病床) 一般病棟 314床
ICU 6床
回復期ヒハビリ病棟 40床
うち個室 153床(病床全体の42.5%)

診療科目

内科、呼吸器内科(休診中)、消化器内科、腎臓内科、循環器内科、糖尿病内科、内科(人工透析)、腫瘍内科、精神科、神経内科、小児科(休診中)、外科、乳腺内分泌外科、腫瘍外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、泌尿器科(人工透析)、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、腫瘍放射線科、放射線IVR科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、ドック健診センター

導入機器

放射線治療装置リニアック、PET-CT、320列CT、3テスラMRI等

設計監理

株式会社日建設計

施工

鹿島建設株式会社、三井住友建設株式会社

新病院診療開始

平成 28 年 10 月 3 日（月）